

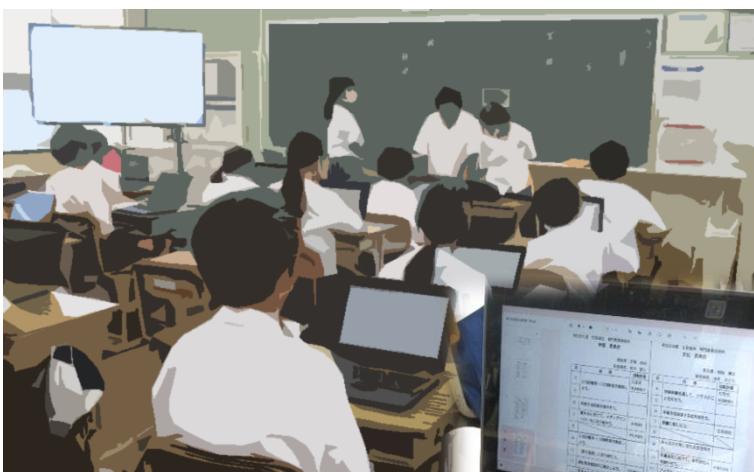


発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 生徒総会（7月）に向けて



7月2日・3日の生徒総会に向けて、第1回目の学級討議を行いました。生徒会執行部を中心に、入念に制作された「議案書」をもとに各学級で話し合いが行われました。上の写真のように、「議案書」はタブレット端末にデータで送られ、ダウンロードして画面上で閲覧しています。時代の流れを感じるところです。一方で、総務委員を中心に、一人一人が意見を出し合う姿は、今も昔も変わりません。きれいに整理された黒板から、充実した話し合いが行われていたことが伝わってきました。これから、何回か学級での討議が行われます。充実した生徒総会になるよう、各学級で討議を深めてほしいと思います。

また、このような生徒会活動を通して、「真城中学校」をつくりあげるのは、生徒一人一人であるという自覚を強くしてほしいと願っています。

☆ 夏期間の確認事項について【お知らせ】

まだ5月ですが、真夏に近い気温の日が続いています。今後も、さらに暑い日が続くことが予想されますので、以下のことについてお知らせをします。

《飲み物について》

- 塩分の補給のため、スポーツドリンク（アクエリアスなど）の持参を可とします。
- あわせて、ペットボトルの持参も可とします。
 - ※ペットボトルは必ず持ち帰ってください。
 - ※責任をもつために、記名をお願いします。
 - ※スポーツ飲料の成分が金属製の水筒を痛める場合があるそうです。ご確認の上ご使用ください。

《制汗剤について》

- 制汗シート（無香料）のみ使用可。スプレータイプのは不可です。使用した制汗シートは持ち帰ってください。
- ※においに敏感な人もいますので、必ず無香料のものを
ご使用ください。

《暑さ対策について》

- ・日傘の使用は可としています。現在、登下校で使っている生徒もいます。
- ・アームカバー（白色もしくは黒色）も使用を可としています。着脱は生徒玄関で行うこととします。

また、暑さ対策として、暑さへの順応（暑熱順化）が大事だと言われます。軽い運動や入浴など、生活習慣の工夫も大事だそうです。さらに、朝食や十分な睡眠も効果があります。これからの厳しい夏を乗り越えるための準備をしておいてほしいと思います。

○ 地域の方とのお話から



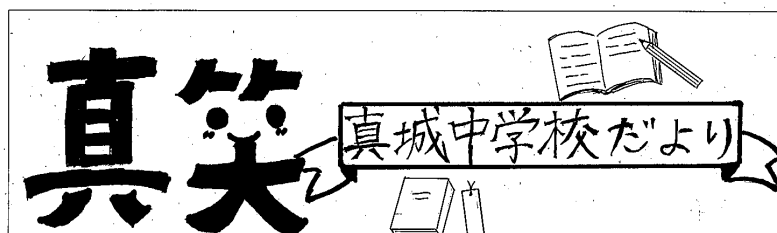
24日(日)に、真城小学校の運動会を参観させていただきました。薄くかかった雲のおかげで、柔らかな日差しの中で運動会が行われました。後半は日差しが強くなりましたが、児童たちは暑さに負けることなく、運動場で躍動する姿を見せていました。

そのような中、多くの地域の方々から「中学校の運動会も素晴らしかったですよ!」、「中学生の声も、家まで聞こえてきましたよ!」、「中学生の姿から、元気を分けてもらいました!」など、たくさんのお声を掛けていただきました。少子化が進む今、地域の未来に不安を持っていらっしゃる方も少なくありません。やはり、元気な子どもたちの姿は、地域に活力をもたらし、明るい未来を想像させてくれるということがわかりました。

昨日、市中核工業団地の見学を、3年生で実施しました。生徒の感想の中に、「将来、ここで働きたい!」という言葉がありました。生徒たちが、諫早の未来に希望を持ってくれると嬉しいです。現在、他に見学等で協力していただける企業等についても開拓中です。諫早で頑張る多くの大人の姿を、子どもたちに伝えていけたらと考えています。そのために、まず、私たち教職員もしっかりしなければ!と思います

☆ 学校だよりのタイトル

今回は3年1組の さんのデザインです。ありがとうございます。「笑」のデザインのセンスが抜群です!



☆ 5月の給食について

5月も美味しい給食のメニューを堪能しました！その中で、JAながさき県央たまねぎ部会様より、今年もたまねぎ1トンを寄贈していただきました。中学校では、19日のミネストローネ（上）、21日のたまごスープ（中）、22日のチキンカレー（下）で使われていました。どのメニューでも、たまねぎの甘さが出ていて、とても美味しく食べることができました。

JAながさき県央たまねぎ部会の皆さま、本当にありがとうございました。多くの方々のご苦勞のおかげで、毎日美味しい給食を食べることができていることに感謝の気持ちでいっぱいです。また、生徒たちには、目の前の給食の後ろに、多くの人たちがいることをイメージできる人になってほしいと願っています。

「諫早たまねぎ」市長に出荷報告 JAながさき県央

2026.05.01

JAながさき県央たまねぎ部会は4月13日、諫早市役所を訪れ、地元産「諫早たまねぎ」10も3ケースを諫早市へ贈呈しました。同日、部会役員、JA職員ら4人が参加。同部会の現状や、2026年度産の出荷を開始したことなどを大久保潔重市長に報告しました。

「諫早たまねぎ」はみずみずしく甘みが強く、生でも食べることができます。昨年に続き、今年度も学校給食へ同部会よりタマネギの提供を予定しています。

川原清昭部会長は「雨が多く苦しい時もあったが、病気もなく昨年と違い順調に生育、収穫できている。ぜひ地元の方に良いものを生で味わっていただきたい」と話しました。



※JAグループ長崎HPより

